

鼓動

北海道利尻高等学校
PTA事務局
令和6年7月26日
第122号

もうこりた？！ 北海道利尻高等学校長 小林 洋介

本校教育活動の特長である地域探究「ふるさと教育」は、昭和62年より推進しております。その学習内容や取組形態は、時代に応じて更新しております。また学年を追うごとに系統的なテーマと内容が設定され、育成が期待されるコンピテンシー（資質・能力）が示されています。今年度は「島の駅プラン（1年生）」、「サロベツ国立公園50周年記念イベント（2年生）」を始め、全体での「利尻島中高合同学問研究ガイダンス」、「全島一周マラソン」、「全校利尻山登山」など、4月から精力的に取り組んで参りました。ホームページやインスタグラム等SNSでも適宜発信しており、多くの「いいね（スタンプ）」や「生徒さん、頑張ってるね！」の声をいただけていますこと、とても励みに感じております。

さて、標記の言葉ですが、作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんが、生前出演された「金スマ」という番組で、「忘己利他（もうこりた）という生き方は、まさに『貢献』の生き方です。」「自分だけのことを考えて生きるのに『もう懲りた』笑」と冗談めかして話されていたのを、ご記憶されている方も多いと思います。「忘己利他」とは天台宗の開祖最澄が唱えた教えで「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」、つまり「自分のことを忘れるほど、他者のために生きること」と説き、「慈悲」は他者を思いやり助ける行動を示します。いわずもがなですが、他者に利益を優先するからといって、自分が不利益を被り、不幸になるということではなく、むしろ他者を幸せにすることで、己も幸せになるという意図は当然織り込まれています。

この4月より利尻高校は、生徒・職員の行動規範として「自律と協働」を提唱しています。この「自律と協働」の行く先は何かというと「利他的・向社会的共存」、すなわちWell-being（身体的・精神的・社会的幸福）につながっていきます。現在のあらゆる学びが、社会に貢献するチカラの根底に深く根差していくことを信じ、教育活動を推し進めています。高校時代は自らの努力と選択、そして周囲の大人達の支援によって可能性が大きく広がる時期です。生徒達が等身大の困難を受け止め、ときには家族や友人などに相談しながら、今後も自分の中の価値観や信条の純度を高め、その行動結果に意義を見出していけるよう（まさに自律！）、教職員一同、継続して誠実にサポートしていく思いです。保護者並びに地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解ご協力、そしてご支援のほどをよろしくお願いいたします。

令和6年度PTA総会 保護者と先生の会事務局 岡本信幸

4月20日（土）本校体育館において令和6年度保護者と先生の会総会が開かれました。43名と大変多くの保護者のご出席のもと、事業・会計報告、事業計画、会計予算、役員改選について審議が行われました。また、授業参観や進路ガイダンス、学年・学級懇談会にも多くの参加をいただきました。

利尻地区打ち合わせ 保護者と先生の会事務局 岡本信幸

5月17日（金）、本校視聴覚教室にて、利尻地区打ち合わせが行われ、利尻地区奉仕活動、祭典巡視、地区懇談会について協議しました。奉仕活動については5月25日（土）に実施された利尻町役場主催「花いっぱい運動」に参加することとしました。なお、祭典巡視は、6月24日（月）、25日（火）に実施しました。利尻地区懇談会については、11月6日（水）に本校視聴覚室にて行う予定です。期日が近づきましたら、ご案内いたします。

利尻地区 奉仕活動

保護者と先生の会事務局 岡本信幸

5月25日(土)、利尻地区の奉仕活動として利尻町役場主催「花いっぱい運動」に参加しました。今年度は生徒24名、保護者2名、教職員10名の計36名が参加し、仙法志公民館、運動公園、除雪センターの3か所に分かれ、地域の方々とともに活動しました。穏やかな天候に恵まれ、前日宿泊研修から帰島した1年生も元気に参加し、利尻町運動公園を色とりどりの花で飾りました。

ふるさと教育 全島一周

ふるさと教育委員会 加納 敏隆

話は4月にさかのぼりますが、私は「ふるさと教育」のオリエンテーションの場で、全校生徒の前で「今年の全島一周の日は、去年のような天気にはなりません(つまり大雨は降りません)！ 根拠はあります」と言い放ちました。もちろん、本当は根拠などありません。いや、実のところまったく無かったわけではないのですが、その根拠は私の冗談に対する生徒の反応並みに薄いものでしかありませんでした。それでも念ずれば通ず、私の放った言霊は雲を一掃し、6月2日の当日は見事な晴天となりました。生徒はその好天を味方につけ、53.7kmでは、エントリー40名中31名、約80%の生徒が完走を果たしました。改めて言うまでもありませんが、53kmを走り切るのは簡単なことではありません。自分の体力やコンディションを把握しながら(自律)、一緒に走る仲間とともに(協働)、制限時間に粘り強く向き合った結果です。コロナも明け、様々な行事が元に戻りつつある中で、利尻高校生の「剛健」さが以前にも増してきたように思います。

また、今年も生徒自らが考案したレシピによるドリンクを夢交流館前で提供しました。ゴール後に昼食を取っていた一般ランナーに聞いたところ、「美味しかった」の声をたくさんいただきました。「昆ポタージュスープ」のネーミングセンスも大層褒められました。ボランティアとして関わった生徒たちも、走ることはまた違った達成感を感じることが出来たようです。保護者の皆様には、そのドリンク提供やエイドなどで多大なご協力をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

最後に、全島一周を経験した生徒は一般ランナーと一緒にゴールを目指す過程の中で、苦しい思いの先にある走る楽しさや喜びを実感出来たのではないかと思います。今後も、日常的に運動を楽しむ心を持ち続けてくれることを願っています。

全島一周 (53.7 km) 校内上位3位						
男子			女子			
1位	3A	小坂 晴太	6時間44分	1位	1A 入井 綾花	7時間31分
2位	3B	安達 佳吾	7時間18分	2位	3A 谷口 世奈	8時間28分
3位	2A	牧野 泰夏	7時間33分		2A 下江 咲笑	

*女子2位は同タイム。



ふるさと教育 利尻山登山

ふるさと教育委員会 今井 一穂

6月29日(土)、本校の「ふるさと教育」の一環として、「利尻山全校登山」を実施しました。利尻山の登山を通じ、その魅力を理解・体験し、「ふるさと利尻島」を愛し、誇りに思う気持ちと広い視野を持ち、その魅力を伝えることができるようになること。そして、仲間との登山を通じて、「如何なる困難にも打ち克つたくましい心と体」と「純粹で人情味ある豊かな心」を向上させることを目的としています。全校生徒を対象に、体力と一人一人の希望に応じた2コースに分かれて、標高1719mの北峰山頂を目指すコース47名と標高760mの第1見晴台(6合目)を目指すコース2名に分かれて挑戦しました。当日は、風が強かったものの、晴天と眺望に恵まれた、絶好の登山日和となりました。

生徒は、学年別のグループで、同行して頂いた利尻山岳会メンバーによるガイドから利尻山の植物、野鳥や珍しいコマドリの巣などについて説明を受けながら進みました。第1見晴台コースは、全員が無事に第1見晴台に到達できました。頂上コースも、各学年グループが順調に登ることができ、多くの生徒が登頂を果たしました。頂上からは、間近に迫るローソク岩や三本槍、固有種の高山植物リシリヒナゲシやボタンキンバイなどに触れ、生徒からは達成感や満足感あふれる表情が見られました。3年生は高校生活最後の挑戦でしたが、18人が登頂して、進路全員実現を祈願した絵馬を山頂の祠に奉納してきました。2年生13名、1年生9名も登頂を果たし、参加した生徒は、より一層「ふるさと利尻」の魅力を実感し、素晴らしい経験が出来たと思います。

今回の実施にあたっては、利尻山岳会、利尻島国保中央病院、地元利尻警察の山岳救助隊、北見富士神社など多くの方々大変お世話になりました。ご協力頂いた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

〈参加した生徒の感想(抜粋)〉

1年生

「今回は天気がとても良く、見たことの無いきれいな景色を見ることができた。」

「上りも下りも大変だったけど友達と話したり、励まし合ったりしながら歩いて楽しかった。」

2年生

「一緒に登った人たちと協力して、より一層仲が深まるような機会になった。初めて上の方まで登って、より利尻山について知ることができた。」

「今年の山頂は天気が良くて下もはっきり見えていて、きれいな景色を見ることができた。」

3年生

「普段見ることができない植物を見たりできたのも良かったけど、特に大きかったのは達成感で、自分でやり切ることので得られるものがあつたなと感じた。」

「すごく辛かったし大変で何度も心が折れそうになったけど、初めて自分の力で登って見た頂上からの景色は一生忘れられない思い出になったので、登ってよかったです。」

「観光客がとても多い。日本人だけでなく、海外の人もたくさん登っていた。全く知らない海外の女性の方が手を握って支えてくれて、スポーツマンシップのようなものを感じることができた。」

「登っていて国内の登山者はもちろん、海外からの登山客も多くて利尻山の魅力が海外にも知られているんだなという発見があつた。」



令和6年度部活動遠征報告(4~7月)

バドミントン部

◎令和6年度第64回春季名寄地区高等学校バドミントン選手権大会 兼 ヨネックス杯争奪バドミントン大会 兼 第78回国民スポーツ大会名寄地区予選会
(4/13~14 名寄市スポーツセンター)

- 男子ダブルス
 - 樗木・山本、武田・八木 2回戦敗退
 - 小坂・八木、今野・牧野 1回戦敗退
- 女子ダブルス
 - 尾上・谷口、下江・石戸谷 2回戦敗退
- 男子シングルス
 - 小坂 晴太 3回戦敗退
 - 山本 侃典、八木 陽生、八木 優翔 2回戦敗退
 - 樗木 蓮稀、牧野 泰夏、今野 陽向、武田 龍太 1回戦敗退
- 女子シングルス
 - 谷口 世奈 3回戦敗退
 - 尾上 ひなの、石戸谷 ひかり、前田 春音 2回戦敗退
 - 下江 咲笑 1回戦敗退

◎令和6年度高体連名寄支部バドミントン選手権大会 兼 第76回北海道高等学校バドミントン選手権大会名寄支部予選会
(5/16~20 稚内市総合体育館)

- 団体戦男子 2回戦敗退 (3位)
- 団体戦女子 2回戦敗退 (準優勝)
- 男子ダブルス
 - 山本・樗木、小坂・八木 3回戦敗退 (ベスト8)
 - 今野・牧野 1回戦敗退
- 女子ダブルス
 - 尾上・谷口 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 前田・榊 2回戦敗退
 - 下江・石戸谷 1回戦敗退
- 男子シングルス
 - 山本 侃典、樗木 蓮稀 2回戦敗退
 - 小坂 晴太 1回戦敗退
- 女子シングルス
 - 谷口 世奈 3回戦敗退 (ベスト8)
 - 尾上 ひなの、石戸谷 ひかり 2回戦敗退

◎令和6年度第77回北海道バドミントン選手権大会高校の部稚内地区予選会
(7/20 稚内市総合体育館)

- 男子ダブルス
 - 今野・牧野、武田・八木 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 加賀谷・高橋 1回戦敗退
- 女子ダブルス
 - 下江・石戸谷 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 前田・榊、鎌田・瀧谷、入井・河越 1回戦敗退
- 男子シングルス
 - 牧野 泰夏 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 八木 優翔 2回戦敗退
 - 今野 陽向、武田 龍太、加賀谷 海斗、富岡 春斗、高橋 翔太 1回戦敗退
- 女子シングルス
 - 下江 咲笑 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 前田 春音、河越 姫花 2回戦敗退
 - 石戸谷 ひかり、瀧谷 咲希 1回戦敗退
 - 入井 綾花、榊 陽色、鎌田 美華

卓球部

◎令和6年度第79回国民体育大会卓球競技稚内支部予選会 兼 稚内ジュニア選手権卓球大会 (4/21 稚内市総合体育館)

- シングルス 予選リーグ
 - 関根 瑛斗 1位通過
 - 佐々木 碧斗、村井 煌翔 2位通過
 - 山本 陽太 3位敗退
 - 河越 丞太郎、松坂 日向 4位敗退

- シングルス 決勝トーナメント
 - 関根 瑛斗 2回戦敗退 →全道大会出場権獲得
 - 佐々木 碧斗 1回戦敗退 →全道大会出場権獲得
 - 村井 煌斗 1回戦敗退 →全道大会出場権獲得

◎令和6年度高体連名寄支部卓球選手権大会 兼 第77回北海道高等学校卓球選手権大会名寄支部予選会
(5/17~19 枝幸町総合体育館)

- 男子学校対抗 予選リーグ
 - 対 稚内高校 1-3 (敗北)
- 男子ダブルス
 - 山本・関根 準決勝敗退 (ベスト4)
 - 河越・佐々木 2回戦敗退 (ベスト8)
 - 松坂・村井 1回戦敗退
- 男子シングルス
 - 山本 陽太 3回戦敗退 (ベスト16)
 - 河越 丞太郎、村井 煌翔、2回戦敗退
 - 佐々木 碧斗、関根 瑛斗
 - 松坂 日向 1回戦敗退

◎令和6年度第79回国民スポーツ大会 (卓球競技) 北海道予選会
(6/28~30 北ガスアリーナ札幌46)

- 少年男子1回戦
 - 山本 陽太、佐々木 碧斗、関根 瑛斗、村井 煌翔 初戦敗退

吹奏楽部

◎令和6年度北海道高等学校文化連盟道北支部音楽発表会
(6/27 士別市民文化センター)

- 吹奏楽部門・コンクール
 - 連盟賞・奨励賞

サッカー部

◎令和6年度高体連名寄支部サッカー大会 兼 第77回北海道高等学校サッカー選手権大会名寄支部予選
(5/18~19 名寄市名寄健康の森)

名寄高校・枝幸高校・士別翔雲高校との合同チームとして参加
1回戦
利尻・名寄・枝幸・士別翔雲 0 $\begin{bmatrix} 0-2 \\ 0-3 \end{bmatrix}$ 5 稚内大谷